



琴清苑だより



発行：社会福祉法人 双葉会
介護老人福祉施設 琴清苑
編集：広報委員会

〒198-0212 東京都西多摩郡奥多摩町冰川1099
TEL 0428-83-3932 FAX 0428-83-3706
URL <http://www.futabakai.or.jp>
e-mail kinseien@futabakai.or.jp

第23号



氷川小学校 6年生による訪問



長かった冬は日ごとに遅のき、花々が鮮やかな色で野や山を染めていく。これから奥多摩の本領發揮の好季節となりました。今日は奥多摩町が誕生して50年、4月1日は奥多摩町が誕生して50年です。社会情勢としむる種々な問題を抱え先の見通しが非常につかしい時代となりましたが、この年にむかって協力していきたいと思います。三宅島の避難指示解除が発せられ、島民皆さんのがんばりの精神がうれしかったです。復興にはまだ時間がかかります。島民の立派な努力が必要です。

さあいさつ

經營方針

琴清苑事業計画

施設サービス面については、従来より推し進めていた「個別ケアの推進・重度化への対応をさらに推し進めるとともに、利用者個々に喜んでいただけるサービスの提供を心掛け、多様化する二つのに対応していかなければならぬ。しかし、介護報酬単価の減額も視野に入れた中で業務を展開していくしかなくてはならず、職員の減員・パート職員の増員・効果的・効率的な活用により、介護体制の見直し・再構築を行い、将来の安定化に向けた基盤整備としたい。

情報開示、職員の資質の向上について、ホームページによる情報開示の充実・第三者評価の導入・委員会制度の強化等により地域社会に存在感のある施設としての機能の充実を図る。



17年1月1日 2階食堂にて

III 法人的理念である 「心の福祉」の実践と チームワークの強化

商員の資質の向上と情報開示

II 職員の資質の

I 介護保険制度化での安定した経営



餅つきの様子



初笑い大会の様子
絵合わせに苦戦する井野トミ工機

初笑い大会

1月2日二階娯楽室において
初笑い大会を行いました。

本年は総合わせ(同じ絵を2枚
探す神経衰弱のよくなもの)を行
いました。皆さん2枚の絵を
わせれるのがなかなか大変な様
ででした。正解者が数名しかいませ
んでも、おおきな歓声があがり利用
者の皆さん楽しそうに過ごされました。



もちをまぶす種も色々です



大好物の餡子をまぶした餅を前に、笑みがこぼれる
河村トミ様

1月14日に利用者30名が見守る中、餅つき大会が行われました。利用者の方の「よいしょ」と掛け声で職員が餅をつき、無事に美味しそうな餅が、つきあがりました。見物された利用者の方々は、昔を懐かしみ楽しい一時を、過ぎざされた事と思います。

競技大会



ひな壇を前に 奈藤タカ様

琴清苑では、毎年各フロアの
おひな様を飾り、利用者に幼い一
頃に
の思いに浸つていただいています。

ひな祭り



献香・献茶・献花をしている様子

お祝いが、涅槃にお入りになつ
た記念日である。2月15日に涅槃
会を行われました。

涅槃会



下段 年女の渡辺マサ様

中段左より 森田主任・郡司職員・佐々木相談員
上段左より 赤鬼 河村職員・青鬼 小川主任

節分

2月3日の節分に施設内
にて、豆まきが行なわれま
した。
職員は神主・巫女・鬼に
変装し、年女の渡辺マサ様
を先頭に各居室を回り、
利用者の皆さんと「鬼は外、
福は内……」と、今年
一年の無事を祈るとともに、
日頃のストレスを解消する
かのように、鬼めがけ豆を
投げつけました。



小学生と綾取りを楽しむ千葉富男様



水川小学校六年生の児童さんが訪問され、朗読劇そして利用者の皆さんと共に歌を唄われました。懐かしい唄に利用者皆さん一人一人の目から涙が溢れ、皆さんとても感動されています。最後に利用者と握手をされ短い時間での訪問でしたが、利用者の皆さんにとつては子供達とのふれあいが、昔を思い起こすこの出来た貴重な時間になつたと思います。

水川小学校訪問

施設内研修

施設では、年に数回の施設内研修を行っています。少しでも、利用者に対する介護・看護の向上が図れればと思います。



1月の施設内研修の様子
(双葉会診療所の片倉先生による、感染症についての研修)

行事予定

6	5	4
17 7 6月 日 日 日	20 5 4 3月 日 日 日 日	15 10 8 8月 日 日 日 日
全館清掃	菖蒲湯	お花見の祭り
会	菖蒲湯	寿司食会
館	菖蒲湯	花見
会	菖蒲湯	の祭り



ドクター中野の星のおはなし 第15

土星と衛星タイタン

太陽系を構成する惑星の一つに、美しい輪を持つ土星は小さな望遠鏡で楽しめる。輪の正体は氷の粒子であることや、輪の傾きは毎年少しづつ変化し15年に一回真横から見るようなとき輪が見えなくなる等々興味深い。土星をとりまく衛星の中で最大の、直径5,150kmのタイタン（英語読み）、ラテン語読みティタンは興味の対象となり、この世界の環境調査のため7年前探査機が準備された。この機械の名は土星の輪の隙間を発見したフランスの天文学者の名からカッシーニ探査機と云い、これにのせられたブローブ（観測装置）には輪を見たオランダの天文学者ホイヘンスの名がつけられた。

1998年10月15日土星への7年がかりの旅へ出発した。土星へ直行することなく、金星と地球と木星とに接近、重力の利用により加速されブローブはようやく2005年1月14日11時13分（ヨーロッパ中央時）タイタンの大気中に突入することが出来た。大気の状態、表面の様子は土星と回っているカッシーニ探査機を経由して資料は送られた。タイタンの表面の特徴は柔らかく岩石は水・あるいは炭化水素の化合物らしいとされる。

地球上の電波天文台の受信により、タイタンの風の向きは西から東へと流れ風速の変化もあるという。大気の成分は窒素とメタンから出来ているという。その中に水蒸氣があるというのは驚きである。撮影された写真の中で小さな川から大きな川に流れ込む様子、白っぽく島のように見える周囲に液体の流れが見える。線状の構造は氷が地面に押し出されたもの等々が示された。

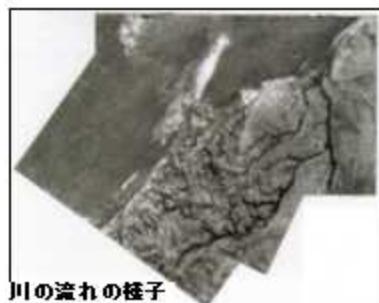
タイタンの環境は他の衛星とは様子が異なり原始地球にひどく似ているという。今後の分析によってあるいは生命誕生の謎に迫ることが出来るかも知れないと科学者は説明する。

最近、月・火星に水があるという。だが地球の1000年先のことは予言しようにもむずかしい。

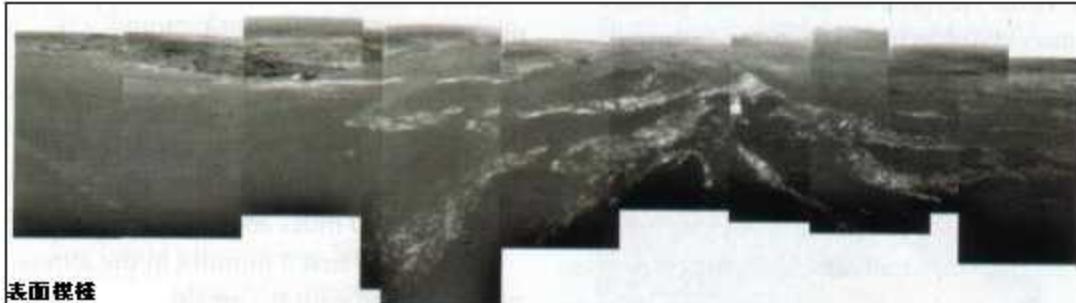
左写真
表面の岩石



右写真
輪の傾き
9 - 2005年
8 - 2007年
7 - 2009年



川の流れの様子



表面模様

おシの せれてす日のき
願エ時まんない。に季ま
いな期た。れた久お節しの春
いします。新で人も春
あります。暖り職員
いすの。新声フ旧援レ交
をッ代を

せれてす日のき
まんない。に季ま
た。れた久お節しの足
と利々花でした。音
が用の見です。も
わ者外に施設
の出でるにたを掛
にたを掛けでも
はめ心けでも
い天待る4
ら気ち予
れに定月
まなしで10

編集後記



シーサー交換
指圧奉仕
奥多摩奉仕会
杉山初・馬場静子
タタンボボの会
奥多摩奉仕会



ボランティア状況
(敬称略)
1月
3月
3月

3月	2月	1月
嶋崎根紳	中村花子	伊藤シズ
佐藤守治	片岡マキ	原島江
大田区立川市	北区立川市	北区立川市
丹波橋区豊島町	奥多摩町	奥多摩町

入苑された利用者
(1月～3月)